



# 千歳セントラルロータリークラブ

## Rotary International District 2510

発行 千歳セントラルロータリークラブ 会長 羽生有三 / 副会長 柏田欣也 / 幹事・会報委員会委員長 須藤 丈 (会報編集責任者)  
 〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4 ホテルグランテラス千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788 membership-office@ccrc.jp http://www.ccrc.jp

### WELCOME

つくし保育園 バナナ組 & メロン組の園児 26 名

### 会長あいさつ 会長 羽生 有三

可愛い園児の皆さん、こんにちは！  
 今日は皆さんの手でジャガイモを収穫してもらいたいと思います。多少、手は泥んこになりますが、自分たちの力でたくさんのジャガイモを採ってもらいたいと思います。このジャガイモで後日、カレーライスを作るそうです。皆さん、頑張ってください。



例会出席状況 (2011 年 9 月 13 日)	
会員数	32 名
会員出席者数	20 名
欠席者数 (内：無断欠席)	12 (2) 名
出席率 (前回例会)	62.5 (75.0) %
ゲスト・ビジター出席者数	0 名
出席者数総計	20 名

畑に入って、探しながらたくさんのジャガイモを見つけて下さい。先生の言うことを聞き、楽しく芋掘りを行いましょう！



### 幹事報告 幹事 須藤 丈

本日、幹事報告はございません。羽生会長よりお茶を差し入れして頂きました。それでは、ふれあい農園実行委員会高塚委員長お願い致します。

### 本日のプログラム

#### 移動例会「ふれあい農園～収穫祭～」

担当 ふれあい農園実行委員会 委員長 高塚 信和

皆さん、こんにちは。  
 今日は 26 人のたくさんの園児の皆さんに来て頂きました。  
 畑から少しジャガイモが顔をのぞかせていますが、土の中にはたくさんのジャガイモが隠れています。



**NEWS & TOPICS**

**被災地に送る仮設の仏壇製作に協力**

福井県で材木店を営む田中保さんが、仮設の仏壇を被災地に無償で贈る取り組みをしています。

「メモリアルボード」と名付けられたこの仏壇は、樹齢 100 年以上の杉や檜の台座に、小さな花瓶と遺影をはさむアクリル板が飾れるシンプルな作り。大切な人を亡くし、家も仏壇も流された被災者の方が、仮の住まいで仏様を供養できるようにコンパクトなサイズです。

田中さんは、震災直後に福井から仮設住宅の建設で被災地支援をしようと尽力しましたが叶わず、木材で被災地の方々にできることを考えて、仮設仏壇を発案しました。

福井県の木材組合連合会で製作し、7 月上旬に 50 台を作って岩手、宮城、福島の寺院に届けたところ、依頼が相次ぎ、これから 1 万台を製作する予定です。この活動を知った県内の高校や他県の業者からも製作を協力したいという申し出が相次いでいます。

材料費は 1 台につき 3,000 円ほどかかるのですが、今は田中さんたちが負担しています。

福井県木材連合会では、ボランティアに協力してくれる団体と、材料費にあてる寄付を募っています。

問い合わせ：福井県木材連合会 TEL0776-35-5663

寄付の振込先：

福井銀行板垣支店(普通) 6014861

口座名「県木連東日本大震災協力資金」



**東日本大震災：岩手・陸前高田へ桜を贈ろう**

東日本大震災の被災地復興の証しにと、都城市の**都城ロータリークラブ**は岩手県陸前高田市へ桜の苗木を贈るプロジェクトを企画し、苗木の購入代に充てる義援金を募っています。

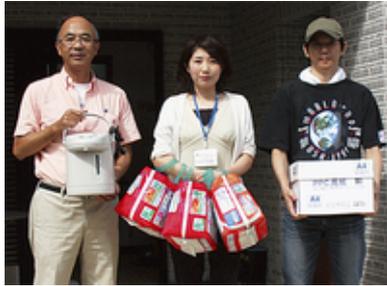
陸前高田市に住む親戚が犠牲になった会員があり、支援内容を調べるため、福崎順久会長(55)ら 5 人が 5 月、現地入りした。妻を震災で亡くした戸羽太市長とも面談し支援を約束。復興の証しに桜の木を多く植えたいとの市長の意向を知り、市や都城商工会議所などの協力も得て、桜を贈ることにしました。

福崎会長は「現地に苗木を育成するほ場も確保します。息の長い取り組みになります」と話した。年内には 1 回目の桜を贈る予定という。

## 「忘れないことが喜び」被災地支援活動

**横浜ひまわりロータークラブ** (臼井瑞穂会長) は東日本大震災を受け、被災地に支援物資を届ける活動を 4 月から続けている。

取り組みの発起人は同メンバーの 1 人で、南区で税理士事務所を営む高橋稔さん。阪神・淡路大震災の際は



確定申告の時期に重なって仕事が忙しく、希望しながらも支援に駆けつけることができなかった。そんな悔しい想いに突き動かされ、今回の震災後にいち

早く立ち上げられた復興支援団体「東北太平洋沖地震生活支援協会」を 3 月末に訪問。物資は豊富に集まってくる一方、それを被災地へ運搬する手段が不足していることを知った。

高橋さんは同クラブに話を持ち帰って協力を呼びかけると、メンバーはこれに賛同。4 月 5 日に高橋さんが宮城県石巻市などに訪問したのを皮切りに、以後毎月ほぼ 2 回のペースで被災地の災害支援センターや仮設住宅、高齢者施設へ直接物資を届け続けている。

自分たちで築き上げた被災地とのパイプラインを活かし、訪問前には必要とされるものを電話で確認。同クラブの予算で購入する物資は、急いで避難した人が多かったために震災後まもなくは靴のリクエストが多かったが、夏場になると虫さされの薬やハエとりリボンが重宝されるように。配給される食事では栄養が偏りがちなため、野菜や果物の濃縮還元ジュースも人気という。

—— 年内の訪問を継続

震災発生から半年が経ち、被災地では当初に比べると瓦礫が道路からきれいに撤去されたり、新しく電柱も建てられるなど徐々に復興の兆しも見え始めた。また、苦難を乗り越えて積極的に生きようと立ち上がり、津波でまっさらになった土地で店を始める人もいるなか、自分の住む街や仕事を失い、先の見えない人生に茫然としている被災者の姿も見受けられるのが現状だという。

高橋さんはこれまでに約 10 回にわたって被災地へ足を運ぶなか、「もしかすると物資は必要でない人もいるかもしれないが、忘れないで訪問を続けることが被災者の方にとって何よりの喜び」と実感。「そろそろ暖をとるものが必要になってくる。年内は訪問を続けていけたら」と今後について話していた。

## SCHEDULE

9 月	☆9 月は、 <b>新世代のための月間</b> です。	
	20 日	★親睦夜間例会「市長山口幸太郎氏を囲んで」[担当/親睦活動委員会(井上委員長)]
	27 日	移動例会「支笏湖周辺・復興の森づくり」&「親睦野外バーベキュー会」[担当/緑化保全推進実行委員会(佐々木俊哉委員長)、親睦活動委員会(井上委員長)]
10 月	☆10 月は、 <b>職業奉仕月間・米山月間</b> です。	
	4 日	移動例会「職場訪問/コトロパーク」[担当/職業奉仕委員会(鈴木委員長)、須藤幹事]
	11 日	移動例会「ふれあい農園 ～収穫・最終作業～」[担当/ふれあい農園実行委員会(高塚委員長)] 食事/レストランター
	15 日	環境フェア in CHITOSE (市民文化センター)
	15-16 日	<b>RI2510 地区 地区大会 (小樽)</b>
	18 日	★移動親睦夜間例会「エアポートホテル アネックス」[担当/親睦活動委員会(井上委員長)]
	25 日	通常例会「ガバナー公式訪問」 10:00 会長・会長エレクト・幹事懇談会 11:00 理事会 <b>12:00 会員集合 12:30 開会点鐘</b>
11 月	☆11 月は、 <b>ローター財団月間</b> です。	
	1 日	★通常夜間例会「クラブ協議/友好クラブ締結 15 周年事業について」[担当/友好クラブ委員会(高塚委員長)、須藤幹事]
	8 日	通常例会「未定」[担当/米山奨学金委員会(佐々木俊英委員長)]
	15 日	★移動親睦夜間例会「創立例会 in 支笏湖」[担当/親睦活動委員会(井上委員長)]
	22 日	通常例会「未定」[担当/エコプロジェクト実行委員会(羽芝委員長)]
	29 日	<b>休会(月末)</b>
12 月	☆12 月は、 <b>家族月間</b> です。	
	6 日	★通常夜間例会「年次総会 (36 分例会)」[担当/須藤幹事]
	13 日	通常例会「上半期を振り返り」[担当/須藤幹事]
	20 日	★親睦夜間例会「クリスマス家族会」[担当/親睦活動委員会(井上委員長)、須藤幹事]
	27 日	<b>休会(年末)</b>

